

おたふくかぜ

おたふくかぜとは？

『ムンプス』『流行性耳下腺炎』ともいいます。原因はムンプスウイルスによるもので、1才以下よりも2～3才から学童期にかけて感染しやすい病気です。ただし、2才以下では症状がなくても実際はかかっているという「不顕性感染」が多く見られます。潜伏期は2～3週間です。耳下腺のはれる前7日頃から、はれた後9日頃までの間は他人にうつる可能性があります。

症状

主な症状は発熱と耳下腺（耳のつけ根からあごにかけてのところ）や顎下腺（あごの下のところ）の腫れです。熱はほとんど出ないことも多く、耳下腺の腫れや痛みで気づくこともあります。耳下腺の痛みが強いため、気嫌が悪くなったり、食欲がなくなります。たいていは最初に片方がはれ、徐々に反対側もはれてきますが、片方しかはれないこともあります。さらに痛みだけで腫れないこともあります。通常10日間くらいで治りますが、長びくこともあります。



診断

普通は症状によって診断できますが、耳下腺の炎症をおこす他の細菌やウイルスもあり、症状が軽い場合や片方しかはれない場合には、他の病気も考えなければいけません。その場合、尿や血液の検査をすることがあります。また、繰り返しておこる場合には、「反復性耳下腺炎」の可能性が強く、「おたふくかぜ」ではありません。

合併症

無菌性髄膜炎を併発することがしばしば（10%以下）あります。高熱が長く続く、頭痛が強い、はきけが強いなどの時は早めに医師の診察を受けて下さい。髄膜炎の予後は一般に良好で、後遺症を残すことはまずありません。成人になってからかかると、卵巣炎や睾丸炎をおこすことがあります。その他の合併症として難聴があります。

治療

特別な治療はありませんが、痛みや炎症をおさえるために薬を服用します。髄膜炎を併発した時は入院が必要なこともあります。

看護

耳下腺の腫れがひくまでは、外出、登園（登校）禁止です。登園（登校）する時には治癒証明書が必要です。入浴も医師の許可があるまで避けて下さい。

食欲がなくなりますから、噛まなくて飲めるような献立の工夫をして下さい。食べない時は水分補給に心がけて下さい。

[ムンプスワクチンで予防できますから、早めに受けるようにしましょう。](#)